

作 樂

第209号

平成30年7月10日号

特別養護老人ホーム 作 樂 莊

〒441-8066 豊橋市王ヶ崎町字上原1番地145
TEL (0532) 48-5111 · FAX (0532) 48-5112

茶々（豊橋・新城合同）許状授与式を終えて 三の丸会館千切庵

キャリアバス	キャリアバス制度の発進
（福）一誠福祉会本部 総務部長 青山	
就任挨拶	
老人保健施設ヘルワユーハイツ 施設長 岩田	
茶々許状授与式	
平成二十九年度 茶々許状授与式	
茶々許状授与式を終えて 老健B/H 理学療法士 田中	
茶々新入研修 第一回：脳卒中その① 岩崎 由美子	
老人保健施設ヘルワユーハイツ 特養事業者介護士 辻運也	
茶々新入研修 第一回：脳卒中その① 岩崎 由美子	
おもてなしの心を学び 特養事業者介護士 辻運也	
茶々新入研修 第一回：脳卒中その① 岩崎 由美子	
短時間集中の茶々新入研修 特養事業者介護士 辻運也	
この一年を振り返って 特養事業者茶々委嘱長 岩崎 由美子	
老人保健施設ヘルワユーハイツ 作業療法士 佐藤 宏昌	
オースマーション 作業療法士 佐藤 宏昌	
特別養護老人ホーム作業療法士 佐藤 宏昌	
事業所紹介 グループホームきらら「ケアのかたかた」 杉本 昌洋	
グループホームきらら 介護士主任 林 克己	
ふるさとの城郭 シリーズ⑦ 戦国期遠江・浜名湖周辺の城郭（中編） 初典	
老人保健施設ヘルワユーハイツ 生活相談員 宏美10洋	
茶語聴覚 シリーズ一 口から始まる介護 ④-14日11美10洋	
老人保健施設ヘルワユーハイツ 言語聴覚士 本田 雄一	
施設だより	
* 作楽荘 ネイル体験 特養介護士 15	22
* 作楽荘 ケアマネ頑張っています 団毛支店ケアマネ 12	13
* 美光ハイム 映画鑑賞会を開催して 生活相談員 一番ヶ瀬智佳子	14
* 俱楽荘 ユニットケアが自指すもの 特養介護士在住 佐原 正美	15
* 食材の買い出し GH介護士主任 竹下 荒木 真奈美	16
* 美光ハイム * ユニットリーダーとして 介護士 竹下 荒木 真奈美	17
* ベルヴューハイツ モチモチのお好み焼き 老健介護士 在住 俊幸	18
* バスハイクは笑顔一杯 デイ介護士 大村 能子	19
* DSC吉かわ 紙芝居とフラダンス 看護師 洋子 正美	20
* 麗楽荘 笑顔の5月誕生日会 特養介護士 真紀	21
* みんなで柏餅作り 楽しい歌謡フラダンス デイ介護士副在住 成丈	22
* お祭りでワクワク 新城の奇祭「かうち」 介護士 牧野 大也	23
* G H きらら 和光ハイム 恒例の五平餅作り 真紀	24
施設日誌／職員募集（面み記事）／編集後記	次

キャリアパス制度の発進

(福)一誠福祉会本部 総務部長 青山 勉

昨年度は、「キャリアパスの再構築」を事業計画三本柱の一つとして目標を掲げて、アウトソーシングによりその道の専門家を招きました。

幹部と代表職員にキャリアパス研修への毎月の参加と宿題の提出を課し、年度末に介護職員待遇改善加算Ⅰを取得しました。

また、正・準職員の給与規程等を改定し昇格制度運用規程等の新規規程を策定し、職業別人事考課シート・職業別チャレンジカード等の成果物を得ることもできました。

今年度は、専門家・谷口氏との委託契約を延長し、その関心の高さと期待の大きさが窺えました。

し、その適正な運用に向けて共に取り組みます。

移行につき、まずは給与システムの変更と、職員の格付けと新制度への

給与の載せ換え等の作業

が早急に必要となり、財経部は大わらわでした。

また、新制度の全職員への説明と周知についても、対象者は四百名弱いるためにその日程組みには苦慮しました。結局、三会場（作楽荘・B.V.H.麗楽荘）で各二回ずつ計六回、五月初旬に実施しました。七十名もの職員が参加する回もあって、その関心の高さと期待の大さが窺えました。

谷口講師から介護事業を取り巻く現状について、介護給付の抑制により利益率が低下、サービスの高度化が要求されて競合施設との競争が激化してきたおり、そして何よりも深刻な事態は介護人材の確保にあるとの説明がありました。これまでの経過や今回の変更点、今後の課題やスケジュールへの言及もありました。職員の真剣な眼差しは、将来的の難局に立ち向かう当

年の立位置と姿を模索しているかのようでした。



作楽荘のキャリアパス説明会

この制度を明るい将来への基盤とするために、職員一人ひとりがキャリアパスを正しく理解すると共に、その運用を通して自らの役割をしつかりと認識し、当法人の活性化に向けて全員で取り組むことが肝要です。

運用の主目的は、①人事委員会の構築②人事考課育成③人事考課シート・職能要件書等、ツール類の適正化作業および公正な人事考課の確立です。その実践に向け、幹部・主任・副主任が毎月の研修会に参加し、年内導入を目指します。

作 樂

就任挨拶

老人保健施設ベルヴューハイツ

施設長 岩田岳士



平成30年5月より老人保健施設ベルヴューハイツ施設長を拝命しました、岩田岳士と申します。

整形外科医として、名古屋市立大学整形外科学教室門下病院を中心に勤めさせていただいておりました。が、今回、大先輩花井先生の後任として、当法人の老健施設長の大任を引き継がせていただきました。

滝川理事長をはじめとする諸先輩によつて築かれてきた伝統を守るとともに、地域福祉に貢献できるよう、微力ながらお手伝いできればと思つております。

経験があり、今後の当法人においてお役に立てる点もあろうかと考えております。

治療において、対症療法と同様に予防が重要であることは周知の事実です。介護でも近年、予防から装具を含んだ保存的療法まで従事してまいりました。スポーツ関連では、あのマリナーズのイチロー選手が取り入れている初動負荷トレーニングに強く興味を抱き、鳥取での研修を含めワールドウイングの小山代表と密に交流させていただきとともに、リハビリにも応用させていただいております。

また、介護認定審査や通所リハビリテーションの運営にも深く関わつた

最後に、私事を少しつれづれなるままに…。昭和32年に京都市北区で生を受け、葵祭で有名な上賀茂神社を遊び場としていました。大学・研修医時代を大阪と京都で過ごし、昼休みには鴨川のゆりかもめと戯れたりと、當時評判だった京都府立医科大卒の大森監督の作品「ヒポクラテスたち」を自分に重ね合わせたような青春でした。

その後縁あつて、名古屋市立大学整形外科でお世話になり30有余年、関西弁こそほぼ抜けてしまいましたが、阪神タイガース・吉本新喜劇・探偵ナイトスクープを日々生活の糧とする、コテコテの関西人です。よろしくおたの申します。

茶々許状授与式

茶々俱楽部豊橋講師 田 中 宗 敏

平成二十九年度 茶々許状授与式

平成三十年六月六日、吉田城址の新緑に囲まれた三の丸会館千切庵茶室にて、滝川一亮理事長先生始め各荘長様ご出席のもと、茶々俱楽部豊橋・新城合同の許状授与式が執り行われました。

玄関には緋鯉の扇面を、寄付には当流会長様の色紙「時々主人公」を(時々ではなく、どんな時どんな事でも自分自身が主人公となり、責任ある行動を執る事が大切)、そして本席には八世宗有宗匠の掛軸「和」を掛けました。日々の暮らしの中でこの筆の意味を大切に心掛け

度をもちまして茶々俱楽
末筆ながら私事、今年
度をもちまして茶々俱楽
閉式致しました。



田中先生を囲んで

寄付でゆかりの汲出しを頂いた後、外を覗くと梅雨入りのため生憎の小雨模様。露地は使えずそのまま躊躇より席入りし、お席にて点心を頂きます。お茶の点前は緊張の中に皆様頑張られ、主客のご挨拶も立派でした。

最後に理事長先生からお稽古を終了した職員一人ひとりに許状が手渡され、お茶も介護も根源にあるのは、「思いやり」「おもてなし」であることを心して頂きたいなどと訓話をされた後、無事閉式致しました。

約二十年に亘り職員の方々の人格作りの一端に関わさせて頂き、その責任の重さを感じながら自身の勉強の場ともなりました。素晴らしい経験、多くの思い出、そして何よりも共に楽しく過ごさせて頂きました事、感謝致します。今後も変わらぬお交わりをお願い申し上げるとともに、茶々俱楽部の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

火入	建水	茶壺	水壺	花盆	花入	花器	花盒	利久草	仙翁
火入	薄茶器	茶杓	釜	花入	掛花入	和	利久草	仙翁	備前焼
火入	亀藏棗	大龜老師	唐銅切合	花入	花入	花器	花盒	中林	星山
火入	山下甫齊造	作	芋頭	花入	花入	花器	花盒	星山	造
火入	廣州窯	作	唐銅切合	花入	花入	花器	花盒	中林	星山
火入	鞍型	佳日	黒樂	花入	花入	花器	花盒	星山	造
火入	澤三造	吉向	十三軒造	花入	花入	花器	花盒	中林	星山
火入	木地	四葩	塗曲	花入	花入	花器	花盒	星山	造
火入	ガラス	松柏	塗曲	花入	花入	花器	花盒	中林	星山
火入	若松園	四葩	塗曲	花入	花入	花器	花盒	星山	造
火入	泉園製	若松園	塗曲	花入	花入	花器	花盒	中林	星山
火入	鞍型	吉向	十三軒造	花入	花入	花器	花盒	星山	造
火入	澤三造	十三軒造	塗曲	花入	花入	花器	花盒	中林	星山

掛軸「和」八世宗有筆



おもてなしの心を学び

特養作樂莊介護士 菊池 陽子

ちょうどこの日から梅雨入りとあって、朝から雨が強く降る六月六日、私たち新人職員の茶々許状授与式を迎えた。

慣れない浴衣姿で初めて三の丸会館千切庵へ。豊橋公園内にあんな素敵なか和の空間があることを知りませんでした。雨でじっくり見られなかつたのは残念ですが、茶道における様々な体験をさせて頂きました。

お茶室に入るにじり口、あれ入りの湯を飲む息継ぎ、繊細な飾り切りのお野菜が目を引く点心、四葩のお菓子など、緊張感と足のしびれの中では

ありましたが、経験し味わうことができました。

茶道の所作を身につけることは難しく、最後まで先生方にご迷惑ばかり

おかげしましたが、おもてなしの心については、学ばせて頂けたものと感じています。

これからは忙しい日々の中でも少し心に余裕を持つて、相手のことを思いやりながら振る舞えるよう、心がけていきたいと思つております。



理事長からの許状授与

茶々許状授与式を終えて

BVH理学療法士 大嶋 千夏

6月6日、豊橋市三の丸会館千切庵で行われた茶々許状授与式に出席致しました。

私は一誠福社会に入社

した昨年6月から茶々研修を受けはじめました。そこで初めてお茶を点てることを経験しました。茶々新人研修が始まる前は、先生から指導を受けるうちに、自ずとお

点前は身につくものだろうと安易に考えていましたが、いざ研修が始まると、正座の仕方や歩き方から細かい所作まで、覚えることが沢山あり過ぎて、上手く出来ず大変苦労しました。

しかし、先生が熱心に指導して下さりお稽古が進むうちに、少しづつでも自信が持てるようになつてきました。

そして、許状授与式で

は点心係を担当することになりました。理事長先生や荘長などに料理やお酒を運ぶのはとても緊張しましたが、先生が教えて下さったことを思い出しながら無事に役割を果たすことが出来ました。

このような貴重な機会を与えて下さった理事長先生、そしてお稽古をつけて下さった先生方に感謝いたします。1年間ありがとうございました。

同日に発表された東海地方の梅雨入り宣言にもかかわらず、私の気持ちは日本晴れでした。

茶々新人研修

この1年を振り返って

特別養護老人ホーム麗楽荘 茶々委員長 岩崎由美子

平成29年9月より、莊内茶々研修は隔週（第2週目と第4週目）金曜日の午後2時から5時までの、月2回実施することになりました。初めての試みでしたので戸惑いもありましたが、講師の先生方の助けもあって、毎回滞りなく順調に進行出来たと思います。



先生を真似て学びました

茶々研修の各月2回開催の中で、職員はどちらかの1回参加することになりました。業務中の時間帯とあつて、全員参加とはいかない月もありましたが、何とか時間を見つけ多くの職員が参加して下さいました。

内茶々研修は隔週（第2週目と第4週目）金曜日の午後2時から5時までの、月2回実施することになりました。初めての試みでしたので戸惑いもありましたが、講師の先生方の助けもあって、毎回滞りなく順調に進行出来たと思います。

新人以外の職員は、お手前をすることはなく、新人職員が先生方のお稽古を受けている様子を見学しながら、お茶とお菓子をいただきます。

新人職員は、今までには講師の先生方のご自宅に伺いお稽古をしていましたのですが、9月からは麗楽荘で先生方に教えていただくことになりました。



たどたどしい所作も次第に…

まだ不慣れなため、お作法一つひとつに緊張しながら、先生方の丁寧な指導を受けてきました。最初は先生方の手元を確認しつつ、お道具を置く位置や作法・袱紗捌きなどを一生懸命に学びながら、それを何回か繰り返すうちに、先生方の手元を確認しなくてもスムーズにこなす茶道の所作が身についてきました。

まだ不慣れなため、お作法一つひとつに緊張しながら、先生方の丁寧な指導を受けてきました。最初は先生方の手元を確認しつつ、お道具を置く位置や作法・袱紗捌きなどを一生懸命に学びながら、それを何回か繰り返すうちに、先生方の手元を確認しなくてもスムーズにこなす茶道の所作が身についてきました。



だいぶ様になってきましたね

私も、先生のご自宅にお稽古に通わせていただきましたが、もう何年も前のことです。忘れていた作法も多かったので良い勉強になりました。

何ヶ月か経てお手前をすることになり、今まで

**短時間集中の
茶々新人研修**

特養麗楽荘 介護士 林由果

昨年から始まつた茶々研修。早いもので、六月六日に無事許状授与式を終え、一年間の新人茶々研修が修了しました。

業務を中抜けして駆けつける研修でしたので、長時間参加することが難しく、教えて下さつている先生方には毎回申し訳ない気持ちでいっぱいでした。それでも先生は、「たとえ短時間でも、集中してしつかりお稽古することが大事ですよ」と優しく言葉をかけ、励まして下さいました。

職場の先輩方からは、どんなに業務が忙しくてもいつでも快く研修に送



茶筅通しも和敬清寂の心で…

先生方をはじめ職場の先輩方、茶々委員の方々など、多くの皆様に支えて頂き無事に茶々新人研修を修了する事が出来ました。本当にありがとうございました。

当初は許状授与式までに習得できるのかと、とにかく不安と緊張しかありませんでした。

しかし先輩方から、礼儀や作法など日頃の生活にも活かせる学びが得られ、茶室の空間や雰囲気など非日常を味わえると教えてもらつたことから、同時に楽しみな気持ちも芽生えました。

徐々に作法を覚え始めると、頭で次の所作を描きながら取り組み、先生

り出して頂きました。千利休の唱えた「和敬清寂」の四文字、和し合う「和」、敬い合う「敬」、心清らかである「清」、そして動じない心「寂」を、この茶々新人研修を通して身をもつて感じた一年でした。

不安と緊張と達成感

特養奇楽荘 介護士 辻愛

昨年九月より、平成二十九年度の茶々新人研修が始まりました。私はお抹茶を点てる以前に頂いた経験もなかったので、

の手順説明と一致する度に、教えて頂いたことが身になつた達成感を味わえました。

また六月六日には、無事許状授与式を迎えて、一年間の集大成を披露することができます。

茶々研修を通して学んだ礼儀作法や相手を敬う気持ちを、介護の現場にも活かせる様に、日々精進してまいります。教え感謝申し上げます。



亭主（筆者）お点前のお稽古中

防犯対策の重要性について

防犯

特別養護老人ホーム作楽荘 副荘長 藤原 運也

平成28年7月26日の夜間、神奈川県の障害者支援施設で、外部侵入者によつて多数の利用者等が死傷するといつた大変痛ましい事件が発生しました。この凶事は高齢者介護の現場にもとても大きな衝撃を与えました。

この事件を受け、厚生労働省は今日まで、「社会福祉施設等における防犯に係る安全の確保について(通知)」訴え続けてきました。この通知は、「地域と一体となつた開かれた社会福祉施設等となること」「「安全確保」の両立を図ることが主な内容であり、「地域に開かれた

施設」という理念と、「防犯」をどのように結びつけていくかという点において、その実践は大変難しい課題であります。

防犯に係る取り組みに向けて当法人では「一体何ができるのか考えた時、まずは各施設の特徴・用途が異なるのか考へた時、センサーライト等の整備



作楽荘玄関上に設置したセンサー付き防犯カメラ

したが、侵入者を未然に防ぐ「侵入させない、させにくい」等の対策は、具体的に計画してこなかつたのが実状でした。

そんな折の平成28年12月、厚生労働省より防犯対策強化事業の一環として、「防犯カメラ・人感センサーライト等の整備事業」の通知がありまし

た。豊橋市では申請して1年越しとなりましたが、平成30年1月にやつと整備許可が下り、同年3月の違ひもあること等、その課題に取り組む上での視点や方法、そしてコストが一様ではないことが障害となっていました。そのため、護身用防犯グッズ等の整備や各施設の戸締りの時刻を早める等、軽微な対策は講じてきま

月には作楽荘・俱楽荘・斯楽荘・ベルヴューハイツで、各施設必要分の防犯カメラ・モニターレコードを設置することができました。

しかしながら、この整備で防犯対策が万全となつたわけではありません。施設における防犯対策マニュアルの作成とその周知徹底、防犯対策の内

部・外部研修の受講、そして地域と連携を図ったネットワークの構築も重要な要となつてきます。

これを機に防犯に対する取り組みをさらに強化し、職員の防犯意識を高め、利用者や地域の皆さんにより安心して過ごしてもらえる拠点づくりを目指していきます。

第1回：脳卒中 その①

老健ベルヴューハイツ 理学療法士主任 杉本昌洋

今回からリハビリ講座を担当します杉本です。宜しくお願ひ致します。堅苦しくなく、読みやすい内容とするよう心掛けますが、時には講座から脱線した話が飛び出すかも知れません。その点、どうかご容赦ください。

リハビリテーションという言葉は宗教上の破門の取り消し、市民権の回復、名譽の回復などに使われてきて、機能回復の意味で使われ始めたのは第一次世界大戦以降です。現在では聞き慣れた言葉ですが、故田中角栄元総理の脳梗塞がきっかけとなり、新聞などで周知されようなりました。

西城さんは48歳の若さで脳梗塞を発症します。日頃から十分に水分を摂らず、サウナに通い詰めるという無理な減量をしていました。さら

たとも云われています。十分に水分を摂取しないと血液が濃くなり、血のかたまりが血管の中にできやすくなります。また、タバコは血管を収縮させ、動脈硬化などの要因となるとともに、細くなった血管をさらに詰まりやすくします。そして、と思いまが、西城さんと云えば、既に廃刊となつた月刊誌の「明星」や「平凡」の表紙を爽やかな笑顔で飾り、その時代の若き女性のハートをときめかせた、往年のスター・アイドルです。

西城さんは48歳の若さで脳梗塞を発症します。日頃から十分に水分を摂らず、サウナに通い詰めるという無理な減量をしていました。さら

• ろれつが回らない、言葉が出ない、話が理解できない
 • 立てない、歩けない、まっすぐに座れない
 • 片方の目が見えない、ものが2重にみえる、視野が欠ける

このような症状が1つでも出たら脳卒中を疑い、ためらうことなく救急車を要請しましょう。特に脳梗塞の場合には、症状が出てから3時間以内に治療すれば、後遺症を最小限に止められる可能性があります。

運動麻痺などの後遺症で日常生活に支障をきたします。もし脳卒中を疑う症状が出たら迅速な対応が必要です。その症状とは次のようなものです。

- 片方の顔および手足の麻痺やしびれ
- ろれつが回らない、言葉が出ない、話が理解できない
- 立てない、歩けない、まっすぐに座れない
- 片方の目が見えない、ものが2重にみえる、視野が欠ける

このように、日常生活に支障をきたす症状が出たら、直ちに医療機関を受診する必要があります。脳梗塞や脳出血などにならないようしつかり健康管理することですね。お読みいただき有り難うございました。次号脳卒中その②に続きます。

作樂莊—医療行為に関する勉強会の実施

特別養護老人ホーム作樂莊 看護師 佐藤 宏美

作樂莊の医務室では、この四月から新しい取り組みに挑戦しています。それは主に新人介護職員を対象とした、医療行為に関する勉強会です。

特別養護老人ホームの夜間帯にはドクターも看護師もいません。即ち、夜勤の介護士さんは否応無しに、医療行為に携わる場面や判断に迫られる事に日々遭遇します。一応マニュアルで対応することになっていますが、医療に関する基礎の中で行う医療行為には、不安や負担が少なからずあり、そのような声が医務室にも届いていました。

その不安や負担を少しでも軽減してもらおうと、当医務室のベテラン青山看護師主任の主導により同じ内容で毎月二回、勉強会を行うことになりました。参加者は新人のみならず、希望があればべテラン介護士や他職種にも対象を拡げました。

今まで唯々やつていた医療行為の一つひとつにも原理原則があるということを知つてもらい、基本ルールを理解した上で行う医療行為がいかに大切であるかを肌で感じ取つていただきました。でも、これは意義ある勉強会だと思っています。

第一回目は上腕式血圧測定について行いました。最初は緊張した面持ちで聞いていた新人職員さんも、ユーモア満載の主任の講義についつい引き込まれ、途中からは笑顔となってくるのでした。めったに持つたことのない聴診器で熱心に実習をくり返し、中には「それつならず、希望があればべテラン介護士や他職種にも対象を拡げました。

今まで唯々やつていた医療行為の一つひとつにも原理原則があるということを知つてもらい、とも、お茶と美味しいお菓子を皆で輪になつて食べていると、思いがけない質問が次々と出てきます。改まって聞けないことを、お茶と美味しいお菓子で気持ちがほぐれれば、こんなにもリラックスして沢山質問ができるものかと驚かされました。



輪になって楽しい勉強会

の一生懸命な姿に勉強会の効果を確信しました。勉強会の終了後には、絶対欠かせないオヤツタイム（モグモグタイム）が待っています。頑張つ美です。主任の手作りお菓子を皆で輪になつて食べていると、思いがけない質問が次々と出てきます。改まって聞けないことを、お茶と美味しいお菓子で気持ちがほぐれれば、こんなにもリラックスして沢山質問ができるものかと驚かされました。

このような小単位・短時間そして楽しい雰囲気で行う青山式勉強法で原理を知り、仕事に生かし、安全な医療行為や介護行為に繋げて行つてもらえば幸いです。

グループホームきらら「ケアのかたち」

グループホームきらら 介護士主任 林 克巳

「障害者を排除するのではなく、障害を持つていても健常者と均等に当たり前に生活できるような社会が、目指す社会である」という考え方から、そんな社会を実現するため取り組むノーマライゼーションこそ、当法人の理念であります。

介護保険制度の導入と共に、地域密着型サービスとして認知症共同生活介護（グループホーム、G Hと略す）は多くの場所で展開されてきました。その中でも東三河の地域性を活かし、地元の自然を身近に感じ生活できるホームとして、当事業所

は7年目を迎えました。ホームで職員一丸となり取り組んでいるのが「心のバリアフリー化」です。この推進により、認知症が被る不自由・参加制約が緩和されます。

例えば、認知症の入居者さんが天気の良い朝、空に浮かぶ雲を見上げながら2年前に他界した夫のお墓参りへ行こうと想つたとします。庭先の花壇へと足を運び花を摘んで、台所の米櫃からお供えを少々用意。さあ出掛けようとした瞬間、「ちょっと待って！何処行くんですか？何やつてんですか？」と質問攻めで制止

してしまう光景などは、閉鎖的なホームで起こりがちな場面なのです。

認知症ケアにおいて、

「対応してあげたいけど時間がない」「そもそも個人的な都合だし、皆さんが平等にケアを受けないといけないし、だから仕方がない」と集団で勝手に線引きしてしまう。

これでは決して良いケアは生まれません。

支援する側の視点を変えたケア方式を、パーソン・センタード・ケアと呼びます。これは決して難しい事ではなく、「認知症を持つ人を一人の人として尊重し、その人の立場に立つて考えながら共に生活を営む」といつとも自然なかたちなのです。スタッフは、手

に持っている花とお米で入居者さんの想いに気づき、如何に行動したいのかを予測し、周りのスタッフと相談しながら協力することで良い支援に繋げる。つまり「まごころの提供」の繰り返しで、心地良くなっています。



きららへ遊びにおいでん

活出来る空間が、私どもの「G Hきらら」です。

ふるさとの城郭

シリーズ(17) 戦国期遠江・浜名湖周辺の城郭(中編上)

老健ベルヴューハイツ 生活相談員副主任 高橋初典

今回も前回に引き続き「戦国期遠江・浜名湖周辺の城郭」、その三回目の中編上になります。

まずは、湖西市にある「宇津山城跡」です。この城は永生三年(1506年)今川氏親により、浜名湖西岸に突き出た半島状の海拔四十九・五mの宇津山に築かれました。



宇津山城三の郭石垣跡

東三河への備えの最前线として、今川氏の重臣・朝比奈氏が守っていましたが、永禄九年(1566年)には内通により徳川勢に城を奪われてしまっています。しかし、今川氏真の命を受けた小原鎮実が城を奪い返し、再び徳川氏の来攻に備えます。

特徴的な遺構として、東側の城域に内側を石垣で補強した土壘が二の郭から三の郭にかけて残存しています。また、舟隠

し場の遺構も残つており、兵達は火急の時にこの舟隠し場の船を使って浜名湖へ脱出したと伝えられています。多米峠を東側に下り、浜名湖に突き当たつてすぐ右手にあるので一度行つてみて下さい。



宇津山城舟隠し場の遺構

続いては、浜松市西区館山寺町にある「堀江城跡」です。この城は、平安時代中期に權勢を誇った藤原道長を祖とする大

その後、大沢氏は徳川家康に服属し多くの戦に従軍します。大沢元胤の太守・今川氏の勢力下

に入り、三河地方の松平氏や渥美半島の戸田氏に対する抑えの城として機能していました。

大沢氏は、戦国時代を通して主家の今川氏から大きな信頼を得ており、浜名湖周辺での権力は絶大でした。昨年の大河ドラマでも、没落した井伊氏を支配下に置く設定で描かれていました。

永禄十二年(1569年)

、当時の城主大沢元胤

(もとたね)は、徳川家

康に攻撃されるも遠江に

おける今川方の最終拠点

として、堀江城に籠り徹底抗戦します。しかし、

徳川軍の攻撃は熾烈で、

結局は和睦する形で降伏しました。

負け戦でしたが武田信玄との「三方ヶ原の合戦」でも活躍し、千五百五十石を与えられます。

高家

そして、江戸幕府開府後も旗本として幕末まで家名を保ちますが、戦国期と同じ領地を与えられたので堀江城跡に「陣屋」を構えます。一万石未満の知行である旗本は、幕府から「城」を構えることを認められておらず、たとえ城に遜色のない建物を建てたとしても陣屋と称しました。

永禄十一年（1568）



ホテル九重に残る堀江城鬼瓦

という旗本の中では別格の地位を与えられ、幕府の儀式や式典を司っていました。その職務の担当は、常に高い家柄から選ばれていました。ちなみに忠臣蔵で有名な「吉良氏」も高家の家柄です。

最後は、浜松市北区気賀にあり、堀江城の支城の役割を果たしていた「堀川城跡」です。氣賀の小豪族や農民は、徳川氏の侵攻を嫌い、以前からの今川氏配下である大沢氏の知行を望んでいたので、永禄十年（1567年）に堀川城を築き、城主には寺子屋を開いていた浪人、新田友作が就きました。城は、浜名湖を背にして前面に都田川の水を引き、満潮時には徒歩で近寄れない造りになつていました。



気賀関所近くの堀川城址

翌年三月、徳川軍は三千の兵で堀川城に迫りました。迎える城兵は二千とうと気賀に差し掛かつたところ、堀川城に村人達が武装して集まり不穏な動きを見せている事に気が付きます。そこで家康は雑兵の姿に変装し、先発隊として城に近づき攻撃しようとしました。後発隊二百の兵も続きますが、堀川城では後発隊の中に家康がいると判断し、これに襲い掛かります。そこで家康は難を逃れて三河へ逃げ帰ります。

落城後も村人にに対する厳しい詮議は続き、七百人余りが打ち首となり、都田川の堤に首が晒されました。当時の気賀七ヶ村と刑部（おさかべ）村を合わせた人口は、約三千人と推定されているので、半数以上が犠牲になったことになります。家康自らの意思で残酷な罰を下したのは後にも先にもこの戦だけで、最大の汚点となっています。

次回も刑部城など遠江の城を紹介したいと思います。お楽しみに！

シリーズ—口から始まる介護④

老健ベルヴューハイツ 言語聴覚士 本田 雄一

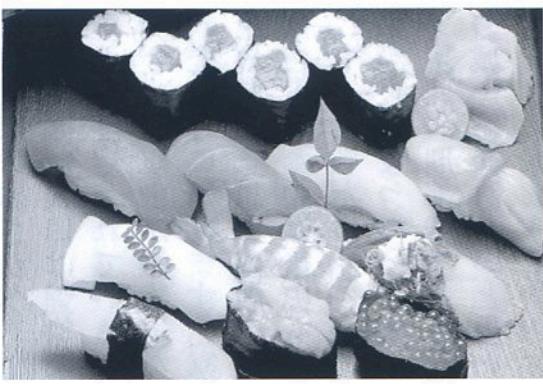
前号では誤嚥性肺炎についてご説明しました。摂食嚥下障害となつてしまつた場合、高齢になればなるほど誤嚥性肺炎のリスクが高まり、生命の危機にも直結する事態となつてしまします。

摂食嚥下障害による第一の問題点が、人の生命の危機でしよう。次に考えなくてはならないのが食べる楽しみの喪失といふ問題。勿論、人間の生命は何時か終わりが来るものです。しかし生きている間に美味しいもの、食べたいものを食べるこ

症により普段は意欲的に動くことが無い方、また自発的に口を動かして言葉を発することが無い方でも、食事の時には意欲的な動作が見られ、もぐもぐと口を積極的に動かすなど、食べることには意欲が表に出るといった方も結構いらっしゃるようになります。また甘いものや自分の好物、好みの味のものにはもぐもぐと口の動きが更に活発になる方も多いものです。

これらのことからも、食べるという行為は人間や生物にとつてかけがえのない根源的な欲求であると言えると思います。この食べる楽しみを失つてしまつというのが、摂食嚥下障害の第二の問題点です。

食べるということに関しても、個人的な観察経験からすれば、例えば認知



施設だより

○ネイル体験

特養介護士 大林 藍

5月14日、作楽荘では専門家のボランティアを招き、入所者の皆さんにネイル体験をして頂きました。「楽しみだな」と前向きな方もいれば、「爪の形が可笑しいから私はいいわ」と敬遠される方もいたので、「試しに塗つてみたらどうですか?」と積極的に勧め、体験してもらいました。



おしゃれは、いいね！

ネイル体験をされた方は爪を眺めながらニコニコされて、職員の所まで自慢げに見せに来て下さいました。「今度はお化粧もしてみたいわ」とお

新行事を増やしていく、楽しんで頂ける場面を多く見られたら最高です。

研修の実習でお世話になつたご縁から、作楽荘に就職させていただきました。実習ではご迷惑をおかけしましたが、今では懐かしい思い出です。

事業所の先輩方はベテランばかりで、自分の知識の無さに落ち込むこと多々ありましたが、そんな私に気づくと、「私も

少しでも先輩方に近づけるよう日々勉強し、ご利用者やご家族の気持ちに寄り添えるようなケアマネジャーになれるよう頑張ります。そしていつかは、「私も初めは分からなかつたから大丈夫だよ！」と優しい言葉をかけられるような先輩になりたいと思っています。



ご家族の気持ちに寄り添い

つしやつていたので、次回はメイクアップアーティストの方をお呼びして、楽しんでもらおうかなと構想を巡らせました。

各自に好きな色を選んで頂いたので、綺麗になつていく爪を見てとても嬉しそうにされ、おしゃれを楽しんでいる様子を見ることができました。

他事業所のデイサービスに7年間勤めた後、一念発起してケアマネジャーの資格取得のために猛勉強し、そして昨年その企画して良かったなと思いました。このような斬新行事を増やしていく、

居宅支援ケアマネ 荒木 真奈美

○ケアマネ頑張っています

初めは分からなかつたから、大丈夫だよ！」といつた励ましの言葉で何度も助けて頂きました。

作楽荘に入社して半年が経とうとしています。

作楽荘に入社して半年が経とうとしています。

美光ハイム

○映画鑑賞会を開催して

生活相談員 一番ヶ瀬智佳子

去る5月25日、閉じこもり防止や入居者同士の交流を目的として、今年度第1回目の映画鑑賞会を開催しました。

昼食後といつたら普段通り、お腹も満腹で血糖値も上がる中、お昼寝タイムの方が多いのですが?と思いまして下さいました。

入居者の皆様に、何が観たいのか事前リクエストを募ったところ、落語・喜劇・時代物といった候補が挙がり、今回は昭和の爆笑喜劇王、植木等の『ニッポン無責任時代』を観て頂きました。

「エ!お呼びでない?」



植木等は良き昭和の顔

笑い声をあげながら満面の笑みで観覧されていた皆様の姿を拝見し、初回としてはまず大成功ではないかな?…と。さらに多くの素敵な笑顔を見たいので、2回目以降も工夫を凝らしていきます。

人にはそれぞれ個性があることは既に承知ですが、施設での看取りも多くなってきました。人生最後のステージを悔いなく迎えて頂くためにも、俱楽莊は、オープンで笑顔溢れる温かい雰囲気の施設、お年寄りの小さな訴えにも必ず応える、気の利いた施設であり続けた

お呼びでないね。こりやまた失礼いたしました」などの名ゼリフを誕生させたのは、皆様ご存知の通りですよね。「スイスイスーだララツタ:♪」も大流行語となりました。良き昭和の時代が蘇ってくるようです。

通りですよね。「スイスイスーだララツタ:♪」も大流行語となりました。良き昭和の時代が蘇ってくるようです。

俱樂莊

○ユーツケアが目指すもの

特養介護士主任 竹本俊幸

俱楽莊は地域におけるユニットケアの先駆けとして開設されました。

時代のニーズに応える形、つまりは集団ケアから個別ケアへと、介護する側主導のケアから介護される側の目線に立ったケアを実践しています。

ケアの柱となるのが24時間のケアプランで、入居者個々の生活歴や訴えをもとに作成されます。

人にはそれぞれ個性があることは既に承知ですが、施設での看取りも多くなってきました。人生最後のステージを悔いなく迎えて頂くためにも、俱楽莊は、オープンで笑顔溢れる温かい雰囲気の施設、お年寄りの小さな訴えにも必ず応える、気の利いた施設であり続けた



何でも話して下さいね

くりと話に耳を傾けることが如何に大切か、常に痛感しております。



○ 食材の買い出し

G H介護士主任 竹下 能子

毎日の食事作りの材料は、以前は業者から配達して頂いていたのですが、五月中旬からは職員と入居者の方々とで買い出しに行っています。

新鮮な食材で食事を提供できること、そして、入居者の方々の外出の機会を増やすことを目的に出来かけています。

始まつたばかりで職員もまだ慣れずにバタバタしていますが、順番に買い出しに行って頂いている入居者の皆様からは、「楽しいね」「私、買い物は大好き。また連れて来てね」などと大好評。 カートを押して職員と



昔を思い出されますか？



○ ユニットリーダーとして

介護士 佐原 正美

斯樂莊に異動して早三年目を迎えました。ユニット型の特養で働くのは初めてで、一年目の時はただ業務に追われ一日が過ぎてしまう毎日でした。

あつという間に一年が過ぎ去り二年目を迎えて、やつと周りにも目を配る余裕ができました。

今では入居者の方々と冗談を言い合ったり、一緒に笑つたりできるほど、私自身の気持ちの中で業務に追われることが無くなつてきました。

店内をクルクル回ると良い運動になり、ストレス解消にもなつていてようで、入居者の皆様のすばらしい笑顔を見る絶好的の機会となっています。



背は高くても目線は低く(左=筆者)

そして三年目を迎えた今年、ユニットリーダーに指名されました。日々の業務の他にもユニット

職員と連携を図り、入居者の方々に不利益が生じないように考へる立場になりました。どのようにすれば入居者の方々により良い生活を送つて頂けるかを考えながら、一人ひとりの個性やニーズに合ったサービス提供を第一優先に業務を進めるよう心がけています。

○ペルヴューハイツー

老健介護士 大村 泰義

老健ペルヴューハイツでは、毎月のレクリエーションで「おやつ作り」をしていますが、5月は「お好み焼き作り」を企画しました。具材は紅生姜・天かす・ソーセージとシンプルなものにして、包丁で切る工程から利用者さんに手伝っていただきました。うまくできるか心配していたのですが、さすがはベテラン主婦であつた方々、見事な包丁捌きできれいに切つてくださいました。

さらに粉を混ぜて焼き上げと工程が進んでいくにつれ、周囲はお好み焼きの香ばしい香りでいつ

ぱいです。見ている利用者さん達からは、「早く食べたいよ!」とか「もう我慢できないわ!」などの声が続出。

時間をかけて作ったお好み焼きは「モチモチして美味しい!」と、とても好評で、中には「これじゃ足りない。おかわり!」と、5枚も召し上がる方もいました。

これからも、皆さんに喜んでいただけるような企画を考えていきたいと思います。



どうでしょうか?
この見事な包丁捌き

○バスハイクは笑顔一杯

デイ介護士 萩本 英樹

今年のバスハイクの行き先は、利用者の皆さんよりアンケートを取つて、「道の駅潮見坂」と「えびせんべいとちくわの共和国」から、どちらか一方好きな方を選んでいただくことになりました。

私が同行した行き先は

「えびせんべいとちくわの共和国」です。そこは東名の音羽蒲郡インター近くにあり、途中で旧東海道を通ります。御油の松並木を走つて行くと、

「昔はここをよく走つたなあ」とか「昔は竹林があつて、こんなに住宅が無かつたなあ」などと、車内では昔を懐かしむ会



目的地でそろって記念撮影!

話が弾んでいました。

目的地へ到着すると、早速、一杯並ぶえびせんべいから一枚ずつ、あれこれ味わい試食しました。「これはうまい!」「これは好みじやない!」「これは好みじゃない!」など、皆さんそれぞれが気に入ったえびせんべいを幾つか購入し、買い物をかごに入れていきました。久しぶりのお出掛けで、皆さんの笑顔をたくさん見ることができました。

作 樂

○紙芝居とフラダンス

看護師 鈴木 洋子

5月25日、元町仲よし会の皆さんに、紙芝居とフラダンスを披露していただきました。

紙芝居は「うまかたどんとたぬきのポンタ」「モチモチの木」の二作品。紙芝居そのものが今ではあまり見る機会も少なくなり、感情のこもったナレーションに皆、真剣に聞き入っていました。終わると、「よかつた。よかつたね」「たまにはいいよね」「子供の頃を思い出すよ」と拍手喝采でした。

続いてはフラダンス。「ふるさと」「幸せなら手を叩こう」を踊りに合わせて合唱。手拍子する人

もいて、ダンスの動きを見ながら一生懸命大きな声で歌つていました。「肩叩こう」の場面では、お互いの肩を叩き合つたりしながら笑顔いっぱい。



童心に返ったひと時です

そして、皆で輪になり、「きよしのズンドコ節」「サザエさん」を歌いながら踊り、笑いながら楽しく過ごす時間はあつという間に過ぎました。

皆様の笑顔に大きな感動をいただきました。

○笑顔の5月誕生日会

特養介護士 神谷 康裕

5月16日の午後から、特養1階の食堂で5月生まれの入所者の方の誕生日会を開きました。

入所者の皆さんも樂しみにしてたようで、笑顔で満ち溢れていきました。まずは、5月に誕生日を迎える入所者の方の紹介と挨拶で始まりました。

皆さん最初は恥ずかしそうで、なかなか挨拶の言葉が出て来ませんでしたが、それでも最後には「どうもありがとうございました」としつかりお礼を言われ、職員や他の入所者の皆さんのお祝いを受けました。

次に、職員から誕生日

者にプレゼントの贈呈があり、誕生日会用のイチゴムースケーキが配されました。ケーキをおいしそうに食べつつ、皆さんがプレゼントを手に嬉しそうな表情で記念撮影に応じて下さいました。

最後に、参加者全員でハッピーバースデーの歌を合唱して、誕生日会を締めくくりました。

今後も入所者の皆さんのが笑顔が少しでも多く見られるよう、頑張っていきたいです。



ハッピーバースデー！

○ 楽しい歌謡フラダンス

デイ介護士副主任 小林 真紀

五月十九日、フラサークル「オルオル」の方がみえて、フラダンスを披露してくださいました。

「涙そうそう」「海の声」「365日の紙飛行機」などの、テレビの番組やコマーシャルで聞き馴染みのある曲に合わせて踊るフランでした。振りつけは手話のようになつていて、「あなた」は手の平を差し出す格好、「空」は両手を広げて天を仰ぐ格好、などで表現されていました。



みんなで「アロハー」

朝から漬物の準備をして10時に5キロのお米が炊き上がり、杵を2本使用してご飯をつぶし、それを湯呑に入れて五平餅一つ分の量にします。今年は私が湯呑に詰めたため、その大きさが例年より3割増になつてしまつたようです。そのご飯2本ほど平らげました。

五平餅が焼き上гарると、少し硬いのではないかと心配しましたが、「おいしい、おいしい」と1人2本ほど平らげました。そして五平餅がすべて焼き終わる頃には、雨がぽつりぽつりと落ちてきました。皆さんの思いが通じて、五平餅作りを無事に楽しく終えました。

く、ご飯を分けるのが間に合いませんでした。

く、ご飯を分けるのが間に合いませんでした。

○ 和光ハイム —

介護士 足立 成丈

5月2日に、和光ハイム恒例の五平餅作りをしました。天気が心配されましたが、さほど暑くもなくとても過ごしやすい日になりました。



どんどん出来上がります

五平餅を作りました。来年もまたおいしい五

作 樂

○ G H うらうら —

介護士 牧野 大也



上手く作れるかな?

端午の節句の五月五日には、入居者の方々と一緒に柏餅を作りました。本来は蒸し器等を使用して作るものですが、時間や手間がかかるてしまうので、電子レンジで作ることになりました。

皆さんこれまで柏餅を作ったことがなく、あまり聞いたことのない作り

手間がかからず簡単に出来ます。蒸し器等を使用して作るものですが、時間や手間がかかるてしまうので、電子レンジで作ることになりました。

生地を冷ました後は、入居者の皆さんで手分けして餡を入れたり柏の葉で包んだりして、何とか無事完成しました。

お抹茶も準備して、出来上がった柏餅を食べていただきました。作り立てはとても美味しかったようで、あつという間に食べ終え、とても満足した様子でした。

皆さんに喜んで食べていただけて、本当によかったです。

方だったのに不安だらけでしたが、いざ調理してみると本当に短時間で生地が出来上がりました。

○ 奇 樂 荘 —

介護士 萩野 英樹

五月初旬の三日間で、砥鹿神社例大祭へ行つて来ました。

初日前夜は激しい雨が降り、「こりやあ、買物（ピアゴ新城）かね?」「雨も上がつたし、行けるら?」などと、入居者の皆さんとの気もそぞろ。

しかし皆さんの不安をよそに、祭り当日は晴天となつて無事砥鹿神社に行くことができました。

神社に到着するといよいよ縁日の散策。雨上がりの午後のせいか、神社は大勢の人で賑わっていました。入居者の皆さんも喜んで食べてました。入居者の皆さんは懐かしそうにそして眞剣に、何を買おうかと屋

台を見て廻りました。そして皆さん全員がたい焼きを買い、気持ちの良い青空の下で食べました。大きな口を開け頭からかぶりつく方、お釣りの袋を大事そうに胸の前で抱える方など、普段とは違う表情が見られました。

帰荘後も楽しそうにお祭りのおしゃべりをする入居者の皆さん様子を眺めながら、これからいろいろな外出企画をしてたいと思いました。



私は何を買おうかな～♪

○ G.H. きらら

○新城の奇祭「しかうち」

介護士 若林百合子

4月22日、きららから車を走らせること約40分、能登瀬字壱輪の諏訪神社境内で毎年この時期に行われる「しかうち行事」を見学してきました。



えっ！ここを登るの～

境内にたどり着くまでの急な石段をゆっくり登ると、シイの枝葉やアオキで作られた鹿の雄雌2頭を発見。雌のお腹部分

には丸餅が入っており、成人に達した青年2人が弓矢を1頭当たり各9本ずつ放ち、雄から始めて雌に18本目の矢を射終わると同時に、お腹に入っている丸餅を山から投げ、人々が転げ落ちながらそれを奪い合う光景を目の大当たりにしました。入居者の皆さんは、「すごい！」

「落ちたよ！人が落ちた！」と心配しつつも興奮されていました。餅を手にした人の家では作物は豊作に、室内安全で子宝にも恵まれると言われているそうです。

これからもまだ知らない行事やお祭りに入居者の皆さんと共に参加し、その場でしか味わえない想いを共感していきたい

本 部 日 誌

平成30年5月

1日 給与規程等の改定及びキャリアバス制度運用に関する説明会(谷口講師於麗樂莊)

8日 採用選考筆記試験(於作樂莊)

9日 採用選考面接(於作樂莊)

10日 職場見学(於斯樂莊)

11日 本部会議(於斯樂莊)

12日 監事監査(於作樂莊)

13日 採用選考面接(於作樂莊)

14日 新規卒予定者求人説明会(板山部長・鈴木副莊長於ライフポートとよはし)

15日 メーキューワークス(株)プレゼンテーション(於作樂莊)

16日 第2回理事会(於作樂莊)

17日 採用選考面接(於作樂莊)

18日 職場見学(於斯樂莊)

19日 企業と高等学校指導主事との意見交換会(板山部長・青山部長於豊橋市総合体育館)

20日 本部会議(於B.V.H.)

21日 福祉・介護の就職総合フェア(板山部長・夏目事務長於ロワジールホテル)

22日 採用選考筆記試験(於作樂莊)

23日 職場見学(於奇樂莊)

24日 後援会奉橘(於俱樂莊)

25日 第2回理事会(於作樂莊)

26日 企業と高等学校指導主事との意見交換会(板山部長・青山部長於豊橋市総合体育館)

27日 本部会議(於B.V.H.)

28日 福祉・介護の就職総合フェア(板山部長・夏目事務長於ロワジールホテル)

29日 採用選考筆記試験(於作樂莊)

30日 第2回理事会(於作樂莊)

31日 平成30年6月

1日 採用選考面接(於T.S.K.)

2日 定時評議員会(於作樂莊)

3日 後援会新城(於麗樂莊)

4日 キヤリアバス研修(於麗樂莊)

5日 採用選考筆記試験(於作樂莊)

6日 平成30年5月

7日 端午の節句

8日 生花クラブ(講師林先生)

9日 「A.I.による自立型ケアマネジメントの実現に向けた実証研究」報告会(白井主任於中野地区市民館)

10日 音楽ボランティア(おたまじゅくの会)

11日 福岡地区民生委員定例会(白井主任於福岡地区市民館)

12日 寿司祭り

13日 母の日

14日 給食会議

15日 母の日ネイルサロン

16日 介護支援専門員研修交流会(白井主任・大塚副主任・高須於ライフポートとよはし)

17日 音楽ボランティア(日本の歌愛唱会)

18日 莊内研修茶々俱樂部

19日 ピアノ演奏会(塙野先生)

20日 職種別会議(主任ケアマネ)(渡邊於大清水センター)

21日 ガラス絵クラブ(講師朽名先生)

22日 絵手紙教室(講師神藤先生)

23日 誕生日会

24日 複合型サービスあいち運営推進会議(白井主任於愛知クリニック)

25日 職種別会議(社会福祉士)(白井主任・大塚副主任於豊橋市役所)

26日 ピアノ演奏会(塙野先生)

27日 音楽ボランティア(歌の輪会)

4日	菖蒲湯
5日	音楽ボランティア(歌の輪会)
6日	A.I.による自立型ケアマネジメントの実現に向けた実証研究」報告会(白井主任於中野地区市民館)
7日	音楽ボランティア(歌の輪会)
8日	「A.I.による自立型ケアマネジメントの実現に向けた実証研究」報告会(白井主任於中野地区市民館)
9日	音楽ボランティア(おたまじゅくの会)
10日	音楽ボランティア(おたまじゅくの会)
11日	音楽ボランティア(おたまじゅくの会)
12日	音楽ボランティア(歌の輪会)
13日	音楽ボランティア(歌の輪会)
14日	音楽ボランティア(歌の輪会)
15日	音楽ボランティア(歌の輪会)
16日	音楽ボランティア(歌の輪会)
17日	音楽ボランティア(歌の輪会)
18日	音楽ボランティア(歌の輪会)
19日	音楽ボランティア(歌の輪会)
20日	音楽ボランティア(歌の輪会)
21日	音楽ボランティア(歌の輪会)
22日	音楽ボランティア(歌の輪会)
23日	音楽ボランティア(歌の輪会)
24日	音楽ボランティア(歌の輪会)
25日	音楽ボランティア(歌の輪会)
26日	音楽ボランティア(歌の輪会)
27日	音楽ボランティア(歌の輪会)
28日	音楽ボランティア(歌の輪会)
29日	音楽ボランティア(歌の輪会)
30日	音楽ボランティア(歌の輪会)

4日	音楽ボランティア(歌の輪会)
5日	音楽ボランティア(歌の輪会)
6日	音楽ボランティア(歌の輪会)
7日	音楽ボランティア(歌の輪会)
8日	音楽ボランティア(歌の輪会)
9日	音楽ボランティア(歌の輪会)
10日	音楽ボランティア(歌の輪会)
11日	音楽ボランティア(歌の輪会)
12日	音楽ボランティア(歌の輪会)
13日	音楽ボランティア(歌の輪会)
14日	音楽ボランティア(歌の輪会)
15日	音楽ボランティア(歌の輪会)
16日	音楽ボランティア(歌の輪会)
17日	音楽ボランティア(歌の輪会)
18日	音楽ボランティア(歌の輪会)
19日	音楽ボランティア(歌の輪会)
20日	音楽ボランティア(歌の輪会)
21日	音楽ボランティア(歌の輪会)
22日	音楽ボランティア(歌の輪会)
23日	音楽ボランティア(歌の輪会)
24日	音楽ボランティア(歌の輪会)
25日	音楽ボランティア(歌の輪会)
26日	音楽ボランティア(歌の輪会)
27日	音楽ボランティア(歌の輪会)
28日	音楽ボランティア(歌の輪会)
29日	音楽ボランティア(歌の輪会)
30日	音楽ボランティア(歌の輪会)

(23) 平成30年7月10日

作樂

- | | |
|-----|----------------------------------|
| 5日 | ガラス絵クラブ(講師 朽名先生) |
| 6日 | 中野地区民選委員定期会(包括於 中野地区民選委員定期会) |
| 8日 | 音楽ボランティア(おたまじやくしの会) |
| 9日 | 茶々許状授与式(於三の丸会館) |
| 11日 | 福岡地区民選委員定期会(包括於 福岡地区民選委員定期会) |
| 12日 | 区市民館) |
| 13日 | 作樂莊家族会議(於作樂莊) |
| 14日 | 包括業務打ち合わせ会(包括於 豊橋市役所) |
| 15日 | 給食会議 |
| 16日 | 広域の地域ケア会議(白井主任・大塚副主任) |
| 17日 | 水セントラ(於 大清水セントラ) |
| 18日 | 絵手紙教室(講師 神藤先生) |
| 19日 | 職種別会議(主任ケアマネ)(渡邊、大清、木澤) |
| 20日 | 職種別会議(保健師)(高須、於 弥生、王寿園) |
| 21日 | ガラス絵クラブ(講師 朽名先生) |
| 22日 | 職種別会議(社会福祉士)(白井主任・大塚副主任、於 豊橋市役所) |
| 23日 | 莊内研修茶々俱楽部 |
| 24日 | 連絡会議 |
| 25日 | 端午の節句 |
| 26日 | 平成30年5月 |
| 27日 | 平成30年6月 |
| 28日 | 平成30年6月 |
| 29日 | 平成30年6月 |
| 30日 | 平成30年6月 |
| 31日 | 平成30年6月 |

俱樂莊日誌

斯樂莊日誌

平成30年5月
日 連絡会議

- | |
|------------------------------------------|
| 平成30年5月 |
| 1日 約会規程等の改定及びキャリアバス制導入に関する説明会(全職員、3日・5日) |
| 8日 運営推進会議 |
| 13日 荘内研修茶々俱楽部(22日) |
| 16日 後援会豊橋(於俱楽莊) |
| 21日 連絡会議 |
| 30日 入居者健康診断(～31日)
習字教室 |

連絡會議（於斯菴莊）
日 キヤリアバス研修錦木主任、福田副主任
日 於麗樂莊)
日 慰問一歌・体操（おたまじやくしの会）

給与規程等の改定及びキャリアパス制度運用に関する説明会(谷口講師於麗楽荘)

DSC 告かわ日誌

平成30年5月

- | | |
|---------|----------------------------------------------|
| 8日 | B V H・作楽莊、3日・5日) |
| 10日 | 職種別会議(堀内主任於アイトビア)
施設内研修茶々俱樂部(講師 林先生・音沼先生) |
| 11日 | ケアマネ交流会(堀内主任於ベルヴューハイツ) |
| 12日 | 音楽療法(夏目音楽教室) |
| 13日 | 音楽療法(おたまじやくしの会) |
| 14日 | 音楽療法(東三河 JAZZ 俱樂部) |
| 15日 | 音楽療法(斯樂莊) |
| 16日 | 音楽療法(おたまじやくしの会) |
| 17日 | 音楽療法(おたまじやくしの会) |
| 18日 | 音楽療法(おたまじやくしの会) |
| 19日 | 音楽療法(夏目音楽教室) |
| 20日 | 音楽療法(於麗樂莊) |
| 21日 | 音楽療法(於麗樂莊) |
| 22日 | 音楽療法(音沼市役所) |
| 23日 | 施設内研修茶々俱樂部(講師 林先生・音沼先生) |
| 24日 | バスハイクA(のんはいパーク) |
| 25日 | 生け花3F(講師 佐藤先生) |
| 26日 | 南京玉すだれ(山吹里の会) |
| 27日 | 誕生日会 |
| 28日 | 職種別会議(保健師)(山崎・羽田於みのり) |
| 29日 | 音楽療法(ヘボの会) |
| 30日 | 音楽療法(ヘボの会) |
| 平成30年6月 | 茶々許状授与式於三の丸会館) |
| 6日 | 業務打ち合わせ会(堀内主任・音沼・山崎・福井於音沼市役所) |
| 11日 | 職種別会議(堀内主任於アイトビア) |
| 12日 | 施設内研修茶々俱樂部(講師 林先生・音沼先生) |
| 13日 | 後援会豊橋(於俱樂莊) |
| 14日 | 吉田方いきいき講座(堀内主任・音沼・山崎・音楽療法(ニユーサウンズ)福井於吉田方市民館) |
| 15日 | バスハイク(ぎょぎょランド) |
| 16日 | ケアマネ交流会(堀内主任於 B V H) |
| 17日 | いざわ鶴丸歌謡コンサート |
| 18日 | 音楽療法(夏目音楽教室) |
| 19日 | 音楽療法(夏目音楽教室) |
| 20日 | 後援会新城(於麗樂莊) |
| 21日 | 音楽療法(おたまじやくしの会) |
| 22日 | 職種別会議(保健師)(山崎・羽田於ふくろう) |
| 23日 | 生け花3F(講師 佐藤先生) |

麗樂莊日誌

職員募集中

◆介護士・看護師(豊橋・新城)
◆正職員およびパート職員
友人・知人紹介大歓迎です!

一本部事務局

平成30年5月
1日 和の会
2日 五餅作り
3日 砥鹿神社大例祭
4日 端午の節句
5日 長篠のぼり祭り
6日 荘内研修茶々俱楽部
7日 のんほいルロット
8日 賀茂しようぶ園散策(～7日)
9日 運営推進会議
10日 のんほいルロット
11日 初夏のドライブ(～ぎよぎよ
12日 ランド、～15日)
13日 連絡会議
14日 大正琴教室
15日 認知症カワエ
16日 荘内研修茶々俱楽部
17日 認知症カワエ
18日 連絡会議
19日 認知症カワエ
20日 認知症カワエ
21日 認知症カワエ
22日 認知症カワエ
23日 認知症カワエ
24日 認知症カワエ
25日 認知症カワエ
26日 認知症カワエ
27日 認知症カワエ
28日 認知症カワエ

平成30年5月
1日 安全運転管理者講習会(鈴木恒副莊長於
新城文化会館)
2日 新城吹奏樂團慰問
3日 茶々許状授与式於三の丸会館)
4日 莊内研修茶々俱楽部
5日 高齢者福祉関係職員基礎研修(神谷康於
愛知県社会福祉会館)
6日 給食会議
7日 新城市介護認定審査会(夏目香副主任於
新城市役所)
8日 莊内研修茶々俱楽部
9日 和の会
10日 バスハイク於ぎよぎよランド、～8日)
11日 パンドミー莊内販売
12日 連絡会議
13日 認知症カワエ
14日 認知症カワエ
15日 認知症カワエ
16日 認知症カワエ
17日 認知症カワエ
18日 認知症カワエ
19日 認知症カワエ
20日 認知症カワエ
21日 認知症カワエ
22日 認知症カワエ
23日 認知症カワエ
24日 認知症カワエ
25日 認知症カワエ
26日 認知症カワエ
27日 認知症カワエ
28日 認知症カワエ

和光ハイム日誌

平成30年5月
1日 和の会
2日 五餅作り
3日 砥鹿神社大例祭
4日 端午の節句
5日 長篠のぼり祭り
6日 荘内研修茶々俱楽部
7日 認知症カワエ
8日 認知症カワエ
9日 認知症カワエ
10日 認知症カワエ
11日 認知症カワエ
12日 認知症カワエ
13日 認知症カワエ
14日 認知症カワエ
15日 認知症カワエ
16日 認知症カワエ
17日 認知症カワエ
18日 認知症カワエ
19日 認知症カワエ
20日 認知症カワエ
21日 認知症カワエ
22日 認知症カワエ
23日 認知症カワエ
24日 認知症カワエ
25日 認知症カワエ
26日 認知症カワエ
27日 認知症カワエ
28日 認知症カワエ

G H うらら日誌

平成30年5月
1日 和の会
2日 五餅作り
3日 砥鹿神社大例祭
4日 端午の節句
5日 長篠のぼり祭り
6日 荘内研修茶々俱楽部
7日 認知症カワエ
8日 認知症カワエ
9日 認知症カワエ
10日 認知症カワエ
11日 認知症カワエ
12日 認知症カワエ
13日 認知症カワエ
14日 認知症カワエ
15日 認知症カワエ
16日 認知症カワエ
17日 認知症カワエ
18日 認知症カワエ
19日 認知症カワエ
20日 認知症カワエ
21日 認知症カワエ
22日 認知症カワエ
23日 認知症カワエ
24日 認知症カワエ
25日 認知症カワエ
26日 認知症カワエ
27日 認知症カワエ
28日 認知症カワエ

G H さうらら日誌

平成30年5月
1日 賀茂しようぶ園(～31日)
2日 パンドミー莊内販売
3日 賀茂しようぶ園(～31日)
4日 莊内研修茶々俱楽部
5日 莊内研修茶々俱楽部
6日 莊内研修茶々俱楽部
7日 莊内研修茶々俱楽部
8日 莊内研修茶々俱楽部
9日 莊内研修茶々俱楽部
10日 莊内研修茶々俱楽部
11日 莊内研修茶々俱楽部
12日 莊内研修茶々俱楽部
13日 莊内研修茶々俱楽部
14日 莊内研修茶々俱楽部
15日 莊内研修茶々俱楽部
16日 莊内研修茶々俱楽部
17日 莊内研修茶々俱楽部
18日 莊内研修茶々俱楽部
19日 莊内研修茶々俱楽部
20日 莊内研修茶々俱楽部
21日 莊内研修茶々俱楽部
22日 莊内研修茶々俱楽部
23日 莊内研修茶々俱楽部
24日 莊内研修茶々俱楽部
25日 莊内研修茶々俱楽部
26日 莊内研修茶々俱楽部
27日 莊内研修茶々俱楽部
28日 莊内研修茶々俱楽部

奇 樂 莊 日 誌

平成30年5月
1日 砥鹿神社大例祭(～5日)
2日 パンドミー莊内販売
3日 莊内研修茶々俱楽部
4日 莊内研修茶々俱楽部
5日 莊内研修茶々俱楽部
6日 莊内研修茶々俱楽部
7日 莊内研修茶々俱楽部
8日 莊内研修茶々俱楽部
9日 莊内研修茶々俱楽部
10日 莊内研修茶々俱楽部
11日 莊内研修茶々俱楽部
12日 運営推進会議
13日 莊内研修茶々俱楽部
14日 莊内研修茶々俱楽部
15日 莊内研修茶々俱楽部
16日 莊内研修茶々俱楽部
17日 莊内研修茶々俱楽部
18日 莊内研修茶々俱楽部
19日 莊内研修茶々俱楽部
20日 莊内研修茶々俱楽部
21日 莊内研修茶々俱楽部
22日 莊内研修茶々俱楽部
23日 莊内研修茶々俱楽部
24日 莊内研修茶々俱楽部
25日 莊内研修茶々俱楽部
26日 莊内研修茶々俱楽部
27日 莊内研修茶々俱楽部
28日 莊内研修茶々俱楽部

例年7月に入つて聞く
蝉の合唱は、本格的な夏
到来の合図です。ただ残
念なことに、最近は蝉の
羽化を目に見る機会が少
なくなりました。
私が少年時代にあけぼ
のの頃に見た、土から這
い出て木を登り、背中を
押し割つて反り返りなが
ら羽化する蝉の姿は、透
き通るほど真っ白で愛お
しささえ感じました。
生まれたばかりの生き
ものや、物事を始めたば
かりの気持ちには、未熟
さとともにまだ染まつて
いない、希望に満ちあふ
れた白さがあります。
私は自身の20年前の入社
は、唯々人の役に立つ仕
事がしたいとの思いから
でした。そんな初心を思
い起こさせてくれる蝉し
ぐれ。今年の夏もまた初
心に返り、新たな気持ち
で人と接したいと思つて
います。(K・F)